

とんとんだより

富田東地区
コミュニティ情報
第20号
平成27年1月15日

発行：富田東地区まちづくり協議会

事務所 新南陽総合支所内(2F)

TEL：63-1188

津波・高潮ハザードマップ説明会



2014. 12. 04 とんとん会館

新年あけまして
おめでとうございます

行事のご案内 (平成27年2月～5月)

3・6	球技大会	新南陽ふれあいセンター	輝きクラブ周南、新南陽支部
3・9～15	高齢者の交通事故防止県民運動	市内各交差点	周南交通安全協会富田東支部
3・15	富田八十八か所お大師巡拝	富田東・西地区	富田東レク・スポ委員会
3・20	卒業証書授与式		富田東小学校
4/中旬～5/月上旬	鯉のぼり掲揚	音羽橋付近	富田川を美しくする会
5・3	まんどころ来てみん祭	ゆめ風車通りとその周辺	まんどころ来てみん祭実行委員会

毎月10日、20日、8時～ 健康ウォーク 政所駐車場～山崎八幡～政所西 富田東地区老連

〈団体紹介〉

富田中学校



富田中学校は、昭和二十二年に徳山市立第四中学校として開校し、今年度で開校六十七年を迎えました。

現在、生徒数は六百七名、学級数二十の大規模校です。生徒たちは、文武両道を目指し、日々勉強や部活動に励んでいます。

今年度、学校のチャレンジ目標を

「希望(夢をもち)」

「努力(自ら鍛え)」

「感謝(思いやりを)」

と設定し、学校教育目標である「明るく、健康で、思いやりがあり、自ら考え努力する生徒の育成」に向けて、生徒、保護者、地域の方、学校が丸となって努力を続けているところです。

富田中の歩み(概略)

昭和二十二年 徳山市立第四中学校として開校

昭和二十四年 富田町立富田中学校と改称

昭和二十八年 南陽町立富田中学校と改称

昭和四十五年 新南陽市立富田中学校と改称

昭和五十四年 体育館完成

平成十三年 校門前の押しボタン式信号機設置

平成十五年 周南市立富田中学校と改称

平成二十三年 武道場完成





本校の特色として、ボランティア活動と全校合唱があります。主なボランティア活動は、山崎八幡宮の例祭のゴミ箱づくりとゴミ拾い、富田西地区市民運動会、サンフェスタしんなんよう、富田東地区敬老会、永源山ゆめ風車まつり、とうそうちゆう（永源山）、あそびんピ

富田東地区敬老会



ック（富田東小）、小畑地区秋祭りなどです。行事やイベントごとに、全校で参加者を募って参加しており、昨年度はのべ約八百十人の生徒が活動させていただきました。地域の方の役割に立って喜んでもらえると同時に、生徒たちも満足感や充実感を味わうことができ、大変感謝しております。

もう一つの特色である全校合唱ですが、本校にはオリジナルソング「歌にのせて」があります。平成十八年に生徒会を中

心に全校生徒で歌詞を考え、作曲家の橋本祥路さんに作曲していただきました。毎年、先輩達が築き上げた伝統を引き継ぐべく、全校生徒と教職員が心を一つにして歌います。今年度も文化祭や市内中学校音楽祭で歌いましたが、聴いてくださった方たちに、大きな感動を与えることができましたのではないかと思います。

富中五心

素直な心 Ⅱ はい。
感謝の心 Ⅱ ありがとう。
反省の心 Ⅱ すみません。
謙虚な心 Ⅱ おかげさまで。
奉仕の心 Ⅱ 私がします。

の育成を目指して、保護者の皆様、地域の皆様とともに、子ども達の健全育成に尽力していく所存です。

これからも、どうぞよろしく
お願いいたします。

（校長 仁志 哲也）



ご来光の集い

「二月一日、暴風雪」…。しかも、注意報ではなく警報だ。気温2度〜マイナス2度、降水確率五十%。寒波が、ご来光の集いに照準を定めているかのような予報だ。

強風にそなえてロープでテン

トの足を固定しながら空を見上げる。まだその気配はない。明日はどうなるのか。惘然として準備を進める。

朝。5時過ぎ。積雪・降雪はないが風は強い。交差点の交通安全旗が千切れんばかり、小刻みにはためいている。

6時過ぎ。焚き火が風に煽られ火の粉混じりの雪が真横に流れる。人出は少ない。

永源山公園

7時前。奇跡か。雲の切れ目が大きくなる。東の空が明るい。展望台に上がる。東南デツキはほぼ満員だがあとは空いている。7時過ぎ。じわじわと人が増え、気が付けば満員状態。

やがて東南の空に初日の昇る気配。樹木の梢越しに周囲の雲が朱に染まり始めた。

トントン通信

「とんとん拍子」の歌詞(案)を記事にして、皆さんにご意見を求めたのは、平成二十一年十月の「とんとんだより第2号」でのことでした。その後歌詞を決定し、曲が出来た事を報告できたのが平成二十三年一月の「第6号」でした。この間、作曲の坂井克嘉先生に出会うことができ、予算ゼロで曲を付けていただけるといふ幸運がありました。まさしくここまでは文字通り「とんとん拍子」でした。

ところが同年五月、この「とんとん拍子」にあいさつ通りの歌詞を付け加えて応募した「ひと・輝きプロジェクト」は残念ながら不採択、目論んでいた補助金は付きませんでした。

それではということ、その後は敬老会で富田東小学校や富田中学校の児童・生徒の皆さんに歌っていただき、合わせて「CD制作」にも取り組んできました。

だが、この「CD制作」が難題でした。当初考えていた男女2名の歌い手さんによるデュエットは何度も試行した結果二人のキー(音域)が違うということにようやく気付く始末でまた一からやり直し、素人の悲しさが身に沁みた出来事でした。

それでも、今日では何枚かの「試作CD」を、制作できるところまで漕ぎつけてきたところです。近い将来(今年度中)、皆さんの手元に届けることができるよう頑張りますので、応援よろしくお願致します。

